



ほっこう

甲府市立北新小学校
2016. 12. 26
No. 9
発行：校長室

2学期もご協力ありがとうございました！

子どもたちが様々な活動で輝く姿を見せた2学期も終わろうとしています。保護者や地域の皆様には、北光まつり等の行事で、また、本の読み聞かせや登下校の見守り、花づくりなどの様々な活動で、ご協力とご支援をいただきました。心より御礼申し上げます。

さて、明日から14日間の冬休みに入ります。子どもたちは、年末や新年のご家族での行事を大いに楽しみ、家族の一員としての役割も果たしてほしいと願っています。また、地域で行われる習慣や行事にも積極的に参加してほしいと思います。冬休みは、夏休みに比べると短い期間です。年末年始のあわただしさのなかで、あっという間に終わってしまいそうです。そこで、あまり欲張らず、「これだけは、やろう！」という計画を立て、やり通したという実感を味わうことが大切だと思います。

「年忘れ」という言葉があります。抱えていたストレス、引きずっていたつらさや悲しみを思い切って捨て、身軽になることができたならどんなにいいでしょう。反対に、汗を流して頑張った記憶、つらさを自力で乗り越えた思い出、楽しかったこと、うれしかったこと、小さいけれど感じた確かな進歩、どれも大切なことだと思います。「年忘れ」の一言で全てを忘れ去ってしまうのではなく、大切なことを自分の記憶にしっかりととどめる、そして1年間を振り返り、新しい年に向けて、決意や目標を決めることも冬休みにぜひやってほしいことです。どうぞ、よいお年をお迎えください。



児童会役員選挙

12月8日（木）から児童会役員選挙が始まりました。会長・副会長に4，5年生から5人の児童が立候補しました。投票日までの6日間ほどの選挙運動期間でしたが、ポスター、クラス訪問、休み時間の選挙運動などの選挙活動をしました。投票日の13日（火）には立会



演説会が行われ、各候補者がよりよい学校にしようと最後の訴えをしました。「仲のよい学校にしたい」「あいさつのあふれる学校にしたい」「仲間を信頼し協力する学校にしたい」「本気で取り組む北新小にしたい」など。とても立派な演説ができました。その後、投開票が行われ新しい児童会役員が選ばれました。来年度もこの選挙で選ばれた役員さんを中心に全校で力をあわせて、一人一人が誇りに思える北新小学校を築いてほしいと思います。



PTA親子球技会

12月3日（土）にPTA親子球技会が行われました。今年は、60名ほどの参加者があり、特別ルールキックベースボールを行いました。攻撃する側は、全員がボールをけります。キック力がなくても頭を使えばヒットになります。守備側は、ボールを取った人以外も全員が走ります。子どもたちの中に大人が入り、組み分けした4チームで試合をしました。楽しい雰囲気の中で試合をすることができました。



指導者派遣事業による習字指導



パトロール隊感謝の会



未来の科学者訪問セミナー

市P連講演会より

12月17日（土）に市P連主催の全体研修会がありました。「親が変われば子どもは変わる」という演題で、加藤秀視（かとう しゅうし）さんという方が講師で講演がありました。加藤さんは、少年院や暴走族のリーダー、やくざなどの荒れた生活から人生を立て直し、今では人材育成家・慈善活動として活躍されている方です。トークライブでは自らのどん底の経験をもとに「人はいつからでも変わる」というメッセージを伝え、ロコミの広がりから講演依頼が絶えず、全国で年間1万人以上に対し講演を行っているそうです。また、これまでの功績から、文部科学大臣奨励賞、衆議院議長奨励賞等数々の受賞歴があります。講演会の内容で印象に残った言葉をお伝えしたいと思います。

○子育てでは、育てる側が良い状態でなければならない。そうでなければ、よい接し方、よい言い方はできない。

○親がよくなることが、一番大事。

○親は、自分を責めることを止める。自分を責めると子どもを責める。責めるのではなく、具体的にだめな行動を言ってあげるとよい。

○過去なんて、どうだってよい。これからを生きるためにある。過去は、今つくられている。今を全力で生きることが大事。

○子育ては、自分の反面教師。

どの言葉も当たり前のことですが、普段の生活の中で意識していることは、少ないと思います。このようなことを意識して、大人も自分を常に高めていくことが大事だと思いました。